

SDGs 宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2022 年 1 月 10 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
持続できる継続的な目標を常に意識し達成しながら、サプライチェーンとしてエッセンシャルワーカーの働く環境と安全な運行をイノベーションし続けていること。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
運送事業者で有る限り大気汚染への環境に配慮する義務が有り、率先して燃費走行や環境に配慮したトラックの購入に努める。 働く環境を常に意識することでジェンダーへの意識を深め、社内だけでなく住んでるまちの環境にも意識を向けていく。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2021年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2022年12月31日までの取組目標
	1.3・最賃割れを起こさないように、荷主様との運賃交渉を今後も継続的に 行なっていく。 1.3・損害保険により災害時における リスクを継続的に担保する。	○継続的な荷主への運賃交渉を継続 2021年10月より静岡県最賃上げに伴 い、基本給のベースUP ○継続契約及び見直しを図る。	1.3・最賃割れを起こさないように、 荷主様との運賃交渉を今後も継続的 に行なっていく。 1.3・損害保険により災害時における リスクを継続的に担保する。
	3.4・マスクの無料配布、消毒液の常 設 3.4・定期健康診断の完全実施（深夜 労働者は2回） 3.5・アルコールチェックの実施 3.6・道路交通事故撲滅の為に交通・労 働安全衛生会議の実施 3.8・インフルエンザ予防接種費用の 全額補助 3.9・常に車輛代替を実施、率先して 排ガス規制に対応 ■上記記載事項の継続。 3.4・健康経営を軸とした診断内容の 拡充に努める。 3.6・運輸安全マネジメントを活用 し、更なる事故防止と労働災害防止撲 滅に努める。 3.7・育児介護休業等の実施及び環境 整備を整える。 3.a・紙タバコから電子タバコへの代 替推進を図る。	■上記項目は全て継続的に実施し た。 ○診断内容を見直し適年齢に達した 健康診断内容の拡充を図った。 本社にAEDを設置した。 ○思ったほど運輸安全マネジメントを 活用することが出来なかった。 ○実施者の要望に応え、育児休業を実 施できたが、環境整備の拡充が今後も 必須とみられる。 ○紙タバコより電子タバコへ代替は少 数ながら進んだ。	3.4・マスクの無料配布、消毒液の常 設 3.4・定期健康診断の完全実施（深夜 労働者は2回） 3.4・健康経営を軸とした診断内容の 拡充に努める。 3.5・アルコールチェックの実施 3.6・道路交通事故撲滅の為に交通・労 働安全衛生会議の実施 3.6・運輸安全マネジメントを活用 し、更なる事故防止と労働災害防止撲 滅に努める。 3.7・育児介護休業等の実施及び環境 整備を整える。 3.8・インフルエンザ予防接種費用の 全額補助 3.9・常に車輛代替を実施、率先して 排ガス規制に対応 3.a・紙タバコから電子タバコへの代 替推進を図る。
	4.4・各種資格試験等を継続的に補助 し、技術的・職業的スキルの向上を常 に図っていく。	○2021年は受講者も少なく、思ったほ どの技術向上はみられなかった。	4.4・各種資格試験等を継続的に補助 し、技術的・職業的スキルの向上を常 に図っていく。
	5.4・継続して男女共同参画社会づく りへの参加。 5.5・継続して積極的な女性従業員の 採用。	○継続して参加をしている。 ○2021年は少数ながら採用できた。	5.4・継続して男女共同参画社会づく りへの参加。 5.5・継続して積極的な女性従業員の 採用。
	6.2・衛生的なトイレを継続して維持 していく。	○毎日の清掃を欠かさず、衛生的なト イレを維持できた。	6.2・衛生的なトイレを継続して維持 していく。
	7.3・継続して燃料消費量を数値化 し、燃費向上に努める。 7.a・環境負荷の低いトラックを常に 購入し、クリーンエネルギー技術への 投資を促進する。	○デジタルタコグラフを有効活用し、 燃費向上に努めることができた。 ○2021年も2台のトラックを代替を促 進し、環境負荷を削減できた。	7.3・継続して燃料消費量を数値化 し、燃費向上に努める。 7.a・環境負荷の低いトラックを常に 購入し、クリーンエネルギー技術への 投資を促進する。
	8.5・継続して同一労働同一賃金を実 施、維持していく。	○同一労働同一賃金を継続実施でき た。	8.5・継続して同一労働同一賃金を実 施、維持していく。
	10.3・今後も適切な関連法規、政策、 行動を促進し、機会均等を確保しなが ら、成果の不平等を是正していく。	○適切な行動を促進できが、機会均等 の一部確保ができなかった。成果の不 平等の排除は維持できている。	10.3・今後も適切な関連法規、政策、 行動を促進し、機会均等を確保しなが ら、成果の不平等を是正していく。
	13.2・低公害車、排ガス規制適合 ディーゼル車を率先して導入してい く。	○2021年も2台のトラックを代替を促 進し環境負荷を削減し、旧トラックを 4台減車することができた。	13.2・低公害車、排ガス規制適合 ディーゼル車を率先して導入してい く。

(記載上の注意)

- 1 取組目標は**3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載**してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は 関連事業者等の名称	株式会社芦川商運	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	3 事業所
2	業 種	6. 運輸業	
3	従業員（構成員）数	62 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	代表取締役
		氏 名	芦川宗典
5	所 在 地	〒 420-8046	
		静岡市駿河区中島1309-1	
6	ホームページURL	http://www.ashikawa-shoun.com	